

6 前計画における評価指標の達成状況

6-1 指標の達成状況

伊勢原市地域公共交通網形成計画[平成30(2018)～令和4(2022)年度]で設定した評価指標について、次のとおり達成状況を確認します。

◎・・・達成 ○・・・概ね達成 △・・・未達成

計画目標	評価指標	目標設定時	目標値(R4)	実績値	達成状況
【目標1】 まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークを形成します。	伊勢原駅北口の交通結節機能強化	—	バス乗降場の拡大	バス乗降場の拡大	◎
	伊勢原駅及び愛甲石田駅の1日の平均利用者数	104,019人	105,000人	75,623人	△
	路線バスの年間利用者数	9,456,813人	9,460,000人	6,886,810人	△
【目標2】 安心して安全な交通環境づくりを推進します。	ノンステップバスの導入台数	24台	30台	44台	◎
	福祉タクシーの導入台数	1台	49台	10台	△
	タクシー乗務員のマタニティサポート講習受講修了者の割合	30%	100%	53.1%	△
【目標3】 公共交通の利用促進と地域のニーズに対応した交通環境づくりを進めます。	公共交通イベントなどの参加者数	—	2,000人	550人	△
	市民アンケート調査による公共交通の満足度	3.14	3.30	3.28	○

6-2 事業の実施状況の確認

伊勢原市地域公共交通網形成計画の施策・事業について、次のとおり目標達成の状況についてとりまとめました。

◎・・・達成 ○・・・概ね達成 △・・・未達成

目標1 まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークを形成します。

施策	実施事業	実施状況	達成状況
伊勢原駅交通結節機能の強化	伊勢原駅北口広場のバスターミナル機能の向上	・伊勢原駅北口の暫定駅前広場の整備を行いました。(H30) ・伊勢原駅北口地区再開発準備組合を設立し、北口駅前広場の整備を含めて再開発事業の実施に向けた取組を進めました。(R3)	◎
	交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上	・乗り継ぎ利便性の向上に向けた研究を進めました。	○
地域公共交通ネットワークの維持・充実	路線バスの維持・充実にに向けた取組	・コロナ禍による需要変化に応じた減便が行われましたが、路線の廃止はなく、路線の維持を図ることができました。	○
	鉄道駅の利便性の向上に向けた取組	・「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」などの機会を通して、鉄道の利便性及び安全性の向上について要望活動を継続して実施しました。	○
新市街地整備や観光振興との連携	伊勢原大山インターチェンジの整備効果を生かした地域公共交通ネットワークの検討	・新たな都市づくりに対応した地域公共交通ネットワークのありかたや乗り継ぎ利便性の向上について、交通事業者と協議・調整のもと研究を進めました。	○
	東部第二地区土地区画整理事業地区の地域公共交通ネットワークの検討	・新たな都市づくりに対応した地域公共交通ネットワークのあり方や乗り継ぎ利便性の向上について、交通事業者と協議・調整のもと研究を進めました。	○
	新幹線新駅設置に伴う公共交通アクセスの検討	・神奈川県及び神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が策定した「ツインシティ整備計画」に位置付けられている公共交通8軸の実現化に向けて、関係機関との連携を図りながら検討を進めました。	○

目標2 安心して安全な交通環境づくりを推進します。

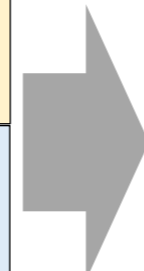
施策	実施事業	実施状況	達成状況
誰もが利用しやすい交通環境の整備	バリアフリー化や安全対策など、鉄道施設の改善の要請	・「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」などの機会を通じて、鉄道のバリアフリー化及び安全性の向上について要望活動を継続して実施しました。	○
	ノンステップバスなどの導入促進	・コロナ禍前においては計画的に車両の導入を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経営維持の観点から、新たな設備投資は行わず、現状の保有台数の維持に努めました。	△
高齢者や障がい者などの移動環境の確保	交通事業者と市の取組の連携	・福祉有償運送や福祉タクシー助成制度などの福祉施策と連携するとともに、交通事業者が実施しているサービスやサポートなどの取組について情報発信を行いました。	○
	円滑な移動に資する支援のあり方などの検討	・高齢者や障がい者、運転免許返納者の円滑な移動に資する支援のあり方についての検討を進めました。	○

目標3 地域公共交通の利用促進と地域のニーズに対応した交通環境づくりを進めます。

施策	実施事業	実施状況	達成状況
地域公共交通の利用促進活動の実施	利用者のニーズに合わせた情報発信	・公共交通の利用ガイド「伊勢原市公共交通の極」を作成し、市内の公共施設や大型店舗などの主要施設に配下し、情報発信を行いました。	◎
	地域公共交通の利用促進活動の展開	・コロナ禍前においては計画的に利用促進活動を実施しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、「バスの乗り方教室」などの市民体験型イベントを中止しました。	△
多様な地域のニーズに対応した地域公共交通の仕組みづくり	協働の仕組みづくりの推進	・公共交通空白地区等の居住者を対象に、タクシー交通を利用した実証実験を実施しました。	○
	先進都市の事例研究	・先進都市の事例について、調査・研究を進めました。	○

7 伊勢原市地域公共交通の課題

<p>■伊勢原市の現状</p> <p>【地域の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前計画時（2015年）と比較し、65歳以上の人口の割合は、2ポイント以上（24,405人→26,878人）増加しており、高齢化社会は今後も緩やかに進行することが見込まれます。 ○鉄道駅から約2km圏域に概ねの市街化区域が網羅されており、コンパクトな市街地が形成されています。 ○東部第二地区、伊勢原大山IC周辺地区など新市街地整備が進展しています。 ○観光客見込数はコロナ禍においても大山・日向地区については、アウトドア需要などにより堅調です。 <p>【公共交通の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢原駅及び愛甲石田駅の利用者数は、コロナ禍により一時3割減となりましたが、令和3(2021)年度からは増加傾向にあります。 ○伊勢原駅に停車するロマンスカーの増加により、伊勢原市への来訪者の利便性が向上しました。 ○路線バスの利用者は、コロナ禍により一時3割減となりましたが、令和3(2021)年度からは増加傾向にあります。また、路線の廃止はなく、バス路線網が維持されています。 ○タクシーの利用者については、コロナ禍により一時約4割減となりましたが、令和3(2021)年度からは、増加傾向にあります。 ○公共交通空白地区等については、前計画と同様に未だ12地区が存在します。 ○各交通事業者においては、移動等円滑化の促進に関する基本方針に則り、バリアフリーの取組を進めています。
<p>■本市を取り巻く状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、在宅勤務やネットスーパーの普及など、人々の働き方やライフスタイルが大きく変化しています。 ○情報通信技術などを活用し、移動の安全性や効率性を最適化する「スマートモビリティ」社会の実現に向けた取組が全国的に進められています。
<p>■地域住民ニーズ【市民アンケート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○運転免許証保有状況について「返納した・持っていない」と回答した方が2割程度で、70歳代以上でも約半数の方が運転免許証を保有している状況にあります。 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響として、公共交通の利用が「以前より少なくなった」との回答が約4割であり、また、今後の利用ではコロナ前に戻らないと回答が約7割と高い傾向にあります。 ○交通系ICカードの保有率は、総数で90%と高くなっており、70歳代以上においても4人に3人は保有している状況となっています。 ○スマートフォンを活用し、公共交通に関する情報を取得していると回答している割合が高いことから、交通ICTを活用した更なる利便性向上に資する取組が重要となってきます。 ○公共交通のバリアフリー化についての認知度が高いですが、満足度の評価では大きく伸びませんでした。また、バスの乗り方教室、マタニティサポートの取組についての認知度は低い傾向にありました。 ○今後の公共交通に期待することとして、「リアルタイムの混雑や近接情報等の提供」が最も多く、次いで「1つのアプリで最適な移動手段と運賃の決済を提供するサービス」、「公共交通の案内版のデジタル化」となっており、MaaS（マース）の推進に向けた取組が必要となってきます。



<p>課題1</p>
<p>【主な視点】地域公共交通ネットワークの維持・充実/地域公共交通の利用促進</p>
<p>本市は、鉄道駅を中心にまとまりのある市街地が形成され、市内の地域公共交通ネットワークは、駅を起点とした放射型、循環型の路線バス網、また、駅や大規模病院を中心としたタクシー交通網により形成しています。</p> <p>若者の自動車離れや高齢化社会の中で、身近な地域公共交通による移動環境は、その必要性や重要性は、益々高まっていくものと考えます。こうした変化する地域公共交通需要に対し、利用実態などを踏まえた効率的で効果的なネットワークを形成するとともに、誰もが安全に安心して利用できる地域公共交通ネットワークの維持・充実に取り組んでいくことが重要です。</p>
<p>課題2</p>
<p>【主な視点】バリアフリー化の推進/利用しやすい地域公共交通環境</p>
<p>国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」（令和3年4月施行）では、公共交通事業者において、駅やターミナル、車両などにおけるバリアフリー化の目標が示されています。</p> <p>高齢者や障がい者等の自立した日常生活及び社会生活を確保するためには、誰もが利用しやすい地域公共交通環境づくりが求められています。</p> <p>これから本格化していく少子高齢・人口減少社会の進展を踏まえ、誰もが安心して円滑に移動することができる交通環境の充実に継続して取り組むことが必要です。</p>
<p>課題3</p>
<p>【主な視点】地域公共交通相互の連携/様々な主体との連携</p>
<p>本市は、都市マスタープラン（H28（2016）年）、立地適正化計画（H30（2018）年）において、コンパクトシティプラスネットワークによる都市づくりを進めています。</p> <p>この中で、市民の移動や交流機会の創出、環境負荷の軽減など、地域公共交通が果たす役割は大きなものです。一方では、働き方改革や新型コロナウイルス禍における新たな生活様式が実践され、地域公共交通利用者の減少や全国的な運転手不足など、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。</p> <p>市民の円滑な移動環境の確保に向けて、公共交通空白地区等など、地域ごとに異なる状況を踏まえながら、市民（地域）、公共交通事業者、行政がそれぞれの役割を担い、協働・連携して取り組むことが必要です。</p>
<p>課題4</p>
<p>【主な視点】地域資源との連携/情報通信技術を生かした利便性の向上</p>
<p>都市計画道路や鉄道等の広域交通ネットワークを生かし、産業系市街地の創出や伊勢原駅北口地区の再開発事業など、新たなまちづくりが進んでいます。駅や観光地へのアクセス性の向上、公共交通利用者の増加など地域の活性化が期待できます。</p> <p>また、市民ニーズが多様化する中、地域における交通資源などの活用や情報技術開発による新たな交通サービスを導入するなど、将来を見据えた移動円滑化の取組が求められています。</p> <p>公共交通事業者が1グループ企業で展開される強みを生かして、近未来のスマートモビリティ社会へ向けたまちづくりが必要です。</p>

8 伊勢原市地域公共交通計画の目標

8-1 計画の目標

本市の地域公共交通の課題から、次のとおり計画の目標を設定します。

【基本的な考え方】

**将来の都市づくりに対応した快適で利用しやすい
地域公共交通ネットワークを形成します。**

【課題に対応した基本方針】

【基本方針1】

地域公共交通ネットワークの維持・充実

- 鉄道駅を起点とした路線バスのネットワークの充実に努めるとともに、地域の特性に合った地域公共交通サービスの向上を図ります。
- 利用者のニーズに合った利用案内や情報発信など、市民、観光客などの来訪者に分かりやすい交通環境づくりを推進するとともに、公共交通の乗り方教室や利用促進イベントの実施などにより、地域公共交通の利用促進に向けた取組を推進します。

【基本方針2】

誰もが安心して利用できる公共交通環境の充実

- 高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安心して安全に利用できる交通環境とするため、バリアフリー化や安全性を向上する取組を推進します。
- 福祉施策と交通事業者が実施する取組との連携を推進するとともに、高齢者や障がい者などの円滑な移動に資する支援のあり方などの検討を進めます。
- 利用者のニーズに合った利用案内や情報発信など、市民、観光などの来訪者に分かりやすい交通環境づくりを推進するとともに、公共交通の乗り方教室や利用促進イベントの実施などにより、地域公共交通の利用促進に向けた取組を推進します。

【基本方針3】

コンパクトなまちづくりと連携した公共交通施策の推進

- 伊勢原駅、愛甲石田駅の駅前広場機能の維持・充実など、交通結節機能の強化及び地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上を推進します。
- 公共交通空白地区等の移動環境支援に関する地域公共交通のあり方の検討を進めます。

【基本方針4】

地域特性を踏まえたスマートモビリティ社会へ向けたまちづくりの推進

- 大山・日向地域をはじめとした観光振興と連携するとともに、新たなまちづくりに対応した地域公共交通ネットワークの形成を目指します。
- 情報通信技術などを活用し、市民の安全で効率的かつシームレスな移動を可能とする「スマートモビリティ社会」の実現を目指します。

8-2 評価指標

計画目標を評価する指標を設定します。

基本方針	評価指標	地域公共交通網 形成計画 (H30～R4)		コ叶禍前 (R1)	地域公共交通計画 (R5～R9)	
		現状値 (H29)	目標値 (R4)		現状値 (R3)	目標値 (R9)
【基本方針1】 地域公共交通 ネットワークの 維持・充実	伊勢原駅及び 愛甲石田駅の 1日利用客数	104,019人 【伊勢原駅】 52,516人 【愛甲石田駅】 51,503人	105,000人	106,307人 【伊勢原駅】 54,602人 【愛甲石田駅】 51,705人	75,623人 【伊勢原駅】 39,806人 【愛甲石田駅】 35,817人	92,500人
	路線バスの年 間利用者数	9,456,813人	9,460,000人	9,166,347人	6,886,810人	7,850,000人
	タクシーの年 間利用者数	—	—	708,037人	397,912人	600,000人
	利用促進ハ ットの参加者 数	—	2,000人	550人	550人	2,000人
	市民アンケート 調査による公 共交通の満足 度	3.14ポイント	3.30ポイント	—	3.28ポイント	3.50ポイント
【基本方針2】 誰もが安心して 利用できる公共 交通環境の充実	ノンステップ バスの導入 台数	24台	30台	42台	44台 (49%)	71台以上 (80%以上)
	福祉タクシー 車両(ユニバー サルデザイン タクシー含む) の導入台数※	1台	49台	11台	10台 (19%)	13台以上 (25%以上)
【基本方針3】 コンパクトな まちづくりと 連携した地域 公共交通施策 の推進	伊勢原駅北 口の交通結 節機能強化	—	バス乗降場 の拡大	暫定バス乗 降場及びタ クシー待機 場の供用	暫定バス乗 降場及びタ クシー待機 場の供用	駅前広場の 整備
【基本方針4】 地域特性を踏 まえたスマート モビリティ社 会へ向けたま ちづくりの推 進	市街地整備に あわせた地域 公共交通ネッ トワークの整 備	—	—	—	—	1地区以上

※福祉タクシー車両の導入台数は、特定の利用者を対象とした事業に供する車両を除く。

8-3 目標達成のための施策・事業

(1) 施策の体系



計画目標に基づく施策の体系を示します。





(2) 目標達成のための施策及び主な取組

計画目標達成のための施策・事業の概要を示します。





地域公共交通ネットワークの維持・充実																			
施策 1	○鉄道駅を起点とした路線バスネットワークの維持・充実に努めるとともに、市内の移動特性を捉えながら、地域公共交通の利便性の向上を図ります。																		
事業の概要	<p>【実施事業】</p> <p>① 路線バスの維持・充実に向けた取組 現在の路線バスネットワークの維持・充実に努めるとともに、観光需要その他の市内の移動ニーズを踏まえ、市内の拠点間や主要な施設などへアクセスするネットワークの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基幹路線の維持・充実 ◆通勤・通学時における利便性の向上 ◆買い物や通院、その他の外出時における利便性の向上 ◆高速バスへの乗り継ぎや観光地間の移動利便性の向上 <p>② 鉄道の利便性等の向上に向けた取組 「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」などの機会を通じて、鉄道の利便性及び安全性の向上についての要望活動を継続して実施します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考】神奈川県鉄道輸送力増強促進会議（昭和39年12月発足） 神奈川県、県内市町村、商工会等によって構成され、鉄道輸送力増強等に関する情報収集や、国及び鉄道事業者への要望活動等を行っています。</p> <p>令和4（2022）年度の要望状況は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特急電車（ロマンスカー）の停車本数の増加（継続） ○高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等（継続） ○伊勢原駅ホームの上りエスカレーターの設置及び待合室の増設（継続） </div>																		
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、伊勢原市																		
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施項目</th> <th style="width: 10%;">R5</th> <th style="width: 10%;">R6</th> <th style="width: 10%;">R7</th> <th style="width: 10%;">R8</th> <th style="width: 10%;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①路線バスの維持・充実に向けた取組</td> <td style="text-align: center;">検討・実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②鉄道の利便性等の向上に向けた取組</td> <td style="text-align: center;">継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	①路線バスの維持・充実に向けた取組	検討・実施					②鉄道の利便性等の向上に向けた取組	継続実施				
実施項目	R5	R6	R7	R8	R9														
①路線バスの維持・充実に向けた取組	検討・実施																		
②鉄道の利便性等の向上に向けた取組	継続実施																		

施策 2		地域公共交通の利用促進				
事業の概要		<p>○地域公共交通に関する情報発信を行うとともに、多様なサービスの提供や利用促進イベントの実施により、地域公共交通の利用促進に向けた取組を推進します。</p> <p>【実施事業】</p> <p>① 地域公共交通に関する情報発信及び多様なサービスの提供 リーフレットの配布などを通じて、わかりやすく地域公共交通に関する情報を発信します。また、子ども料金の設定による子育て世代の応援や公式アプリを活用した多様なサービスの展開により、利用しやすい環境づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域公共交通の利用に関するリーフレットなどの作成・配布 ◆子育て関連サービスの充実（小田急電鉄、神奈川中央交通：小児 I C 運賃 50 円） ◆アプリを活用したサービスの展開 ◆バスロケーションシステムの充実 <p>② 利用促進イベントの実施 次世代の利用促進に繋げていくため、児童などを対象にバスの乗り方や交通安全教室を実施します。また、地域イベントへ利用促進ブースを出展し、地域公共交通に関する理解を深めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆児童などを対象としたバスの乗り方教室の実施 <p style="text-align: center;">▼バスの乗り方や交通安全教室の様子</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆地域のイベントへの利用促進ブースの出展 <p style="text-align: center;">▼利用促進ブースの様子</p> 				
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市					
実施時期	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9
① 地域公共交通に関する情報発信及び多様なサービスの提供		情報発信及び多様なサービスの提供				
② 利用促進イベントの実施		イベント実施				

施策 3		地域公共交通のバリアフリー化の推進																						
事業の概要		○高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安心して安全に利用できる公共交通とするため、バリアフリー化や安全性を向上する取組を推進します。																						
		<p>【実施事業】</p> <p>① 鉄道施設のバリアフリー化や安全対策などの推進 鉄道駅構内のエスカレーターの設置や待合室の増設などを推進します。</p> <p>② ノンステップバスなどの導入促進 国が定める「移動等の円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、ノンステップバスや福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシーを含む）の導入を促進します。</p> <p>◆ ノンステップバスの導入促進</p> <p>◆ 福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシーを含む）の導入促進</p>																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">移動円滑化の促進に関する基本方針 目標値（基本方針）R3～R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス</td> <td>総車両の80%をノンステップバスとする。</td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td>総車両の25%をユニバーサルデザインタクシーとする。</td> </tr> </tbody> </table>					移動円滑化の促進に関する基本方針 目標値（基本方針）R3～R7		路線バス	総車両の80%をノンステップバスとする。	タクシー	総車両の25%をユニバーサルデザインタクシーとする。												
移動円滑化の促進に関する基本方針 目標値（基本方針）R3～R7																								
路線バス	総車両の80%をノンステップバスとする。																							
タクシー	総車両の25%をユニバーサルデザインタクシーとする。																							
		<p>▼ ノンステップバス</p> 		<p>▼ ユニバーサルデザインタクシー</p> 																				
実施主体		鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市																						
実施時期		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="347 1848 678 1960">① 鉄道施設のバリアフリー化や安全対策などの推進</td> <td data-bbox="678 1848 837 1960">継続実施</td> <td data-bbox="837 1848 997 1960"></td> <td data-bbox="997 1848 1157 1960"></td> <td data-bbox="1157 1848 1316 1960"></td> <td data-bbox="1316 1848 1489 1960">→</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1960 678 2067">② ノンステップバスなどの導入促進</td> <td data-bbox="678 1960 837 2067">導入促進</td> <td data-bbox="837 1960 997 2067"></td> <td data-bbox="997 1960 1157 2067"></td> <td data-bbox="1157 1960 1316 2067"></td> <td data-bbox="1316 1960 1489 2067">→</td> </tr> </tbody> </table>					実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	① 鉄道施設のバリアフリー化や安全対策などの推進	継続実施				→	② ノンステップバスなどの導入促進	導入促進				→
		実施項目	R5	R6	R7	R8	R9																	
① 鉄道施設のバリアフリー化や安全対策などの推進	継続実施				→																			
② ノンステップバスなどの導入促進	導入促進				→																			

高年齢者や障がい者等、誰もが移動しやすい環境の確保																															
施策 4	<p>○公共交通事業者の取組と福祉施策との連携を推進するとともに、高齢者や障がい者などの円滑な移動に資する支援のあり方などの検討を進めます。</p>																														
事業の概要	<p>【実施事業】</p> <p>① 公共交通事業者と福祉施策の取組の連携</p> <p>公共交通事業者が実施しているサービスやサポートなどの取組と福祉有償運送や福祉タクシー利用助成などの福祉施策のそれぞれが連携し機能する取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉有償運送の充実 ◆公共交通事業者による「高齢者向けの専用パス」や「マタニティサポート」などの維持・充実 <p style="text-align: center;">▼マタニティサポート講習の様子</p>  <p>②円滑な移動に資する支援のあり方などの検討</p> <p>高齢者や障がい者、自動車運転免許証の返納者の円滑な移動に資する支援のあり方などについて検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆円滑な移動に資する支援のあり方の検討 ◆先進事例の研究 																														
実施主体	<p>鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市</p>																														
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">実施項目</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R5</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R6</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R7</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R8</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #d9e1f2;">①公共交通事業者と福祉施策の取組の連携</td> <td style="text-align: center;">検討・実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9e1f2;"></td> <td colspan="5" style="text-align: right;">→</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9e1f2;">②円滑な移動に資する支援のあり方などの検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9e1f2;"></td> <td colspan="5" style="text-align: right;">→</td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	①公共交通事業者と福祉施策の取組の連携	検討・実施						→					②円滑な移動に資する支援のあり方などの検討	検討						→				
実施項目	R5	R6	R7	R8	R9																										
①公共交通事業者と福祉施策の取組の連携	検討・実施																														
	→																														
②円滑な移動に資する支援のあり方などの検討	検討																														
	→																														

伊勢原駅北口における交通結節機能等の強化																									
施策 5	○伊勢原駅北口のバスターミナル機能の向上、交通結節機能の強化及び地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上を推進します。																								
事業の概要	<p>【実施事業】</p> <p>① 伊勢原駅北口のバスターミナル機能の向上 伊勢原駅北口は、用地先行取得した都市計画道路用地を活用して、平成 30(2018)年度にバス乗降場（面積約 1,000 m²）及びタクシー待機場（面積約 350 m²）を暫定的に整備しました。 引き続き、伊勢原駅北口におけるバスターミナル機能の向上や交通結節機能の強化とともに、中心市街地として利便性の高い交流拠点の形成を図るため、市街地整備に向けた取組を進めます。 ◆伊勢原駅北口駅前広場の整備</p> <p>② 愛甲石田駅南口ロータリーの維持・充実 市民まちづくりグループとの協働による、ロータリーの清掃や花植活動などの取組を推進するとともに、交通の円滑な結節機能を維持・充実するよう、利用者への啓発などの取組を進めます。</p> <p>③ 地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上 平成 30(2018)年 3 月のダイヤ改正により、千代田線から直通する伊勢原駅行きの新設や平日の通勤時間帯の快速急行の増発、また、令和 4（2022）年 3 月のダイヤ改正によるロマンスカーの停車本数の増加などにより、伊勢原駅の交通利便性が向上しました。 こうした中、鉄道と路線バスの乗り継ぎ時間の更なる短縮など、円滑で利便性の向上に資する取組を推進します。</p>																								
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市																								
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施項目</th> <th style="width: 10%;">R5</th> <th style="width: 10%;">R6</th> <th style="width: 10%;">R7</th> <th style="width: 10%;">R8</th> <th style="width: 10%;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 伊勢原駅北口のバスターミナル機能の向上</td> <td>市街地整備の推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 愛甲石田駅南口ロータリーの維持・充実</td> <td>維持・取組の推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上</td> <td>維持・取組の推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	① 伊勢原駅北口のバスターミナル機能の向上	市街地整備の推進					② 愛甲石田駅南口ロータリーの維持・充実	維持・取組の推進					③ 地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上	維持・取組の推進				
実施項目	R5	R6	R7	R8	R9																				
① 伊勢原駅北口のバスターミナル機能の向上	市街地整備の推進																								
② 愛甲石田駅南口ロータリーの維持・充実	維持・取組の推進																								
③ 地域公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上	維持・取組の推進																								

施策 6		公共交通空白地区等における移動環境支援の検討					
事業の概要	○公共交通空白地区等の移動環境支援に関する地域公共交通のあり方の検討を進めます。						
	<p>【実施事業】</p> <p>① 地域の実情やニーズに対応した移動環境支援の検討 公共交通空白地区等の移動環境について、地域の実情やニーズを踏まえた地域公共交通のあり方について検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の実情等を踏まえた地域公共交通のあり方の検討 ◆公共交通空白地区等における移動環境支援に関する実証実験の実施 <div data-bbox="427 627 802 896" style="text-align: center;">  </div> <p>② 福祉施策との連携による移動環境支援の検討 福祉有償運送をはじめとする福祉施策との連携により、個々の実情に応じた移動環境支援のあり方を検討します。</p> <div data-bbox="427 1099 798 1373" style="text-align: center;">  </div>						
	<p>実施主体</p> <p>鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市</p>						
実施時期	<p>実施項目</p>	R5	R6	R7	R8	R9	
	<p>① 地域の実情やニーズに対応した移動環境支援の検討</p>	<p>検討・実証実験</p>					
	<p>② 福祉施策との連携による移動環境支援の検討</p>	<p>検討・連携</p>					

新たなまちづくりと連携した地域公共交通の検討																									
施策 7	○大山・日向地域をはじめとした観光振興との連携とともに、新たなまちづくりに対応した公共交通ネットワークの形成を推進します。																								
事業の概要	<p>【実施事業】</p> <p>① 伊勢原大山インターチェンジの整備効果を生かした地域公共交通ネットワークの検討 大山や日向地域をはじめとした観光地を回遊する結節点として高いポテンシャルを有した地区であり、産業系市街地整備による公共交通需要と合わせて、新たな交通結節機能の検討を進めます。 ◆伊勢原大山インターチェンジ周辺地区の産業系市街地整備の推進と利用ニーズに合わせた公共交通ネットワークの検討 ・パーク&ライド駐車場整備やシャトルバス運行等の検討 ・自動運転バスの実証実験の検討</p> <p>② 東部第二土地区画整理事業地区の地域公共交通ネットワークの検討 産業系市街地整備が進む東部第二土地区画整理事業地区において、アクセス利便性を確保するための取組を推進します。 ◆利用ニーズに合わせた地域公共交通ネットワークの検討</p> <p>③ 新幹線新駅設置に伴う地域公共交通ネットワークの検討 神奈川県及び神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が策定した「ツインシティ整備計画」に位置付けられている公共交通8軸の実現化に向けて、関係機関との連携を図りながら検討を進めます。 ◆新たな地域公共交通ネットワークの検討 ◆ツインシティ大神のまち開きを踏まえた、広域的な地域公共交通ネットワークの検討</p>																								
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市																								
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">実施項目</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R5</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R6</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R7</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R8</th> <th style="background-color: #d9e1f2;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 伊勢原大山 IC の整備効果を生かした地域公共交通ネットワークの検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 東部第二土地区画整理事業地区の地域公共交通ネットワークの検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 新幹線新駅設置に伴う地域公共交通ネットワークの検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	① 伊勢原大山 IC の整備効果を生かした地域公共交通ネットワークの検討	検討					② 東部第二土地区画整理事業地区の地域公共交通ネットワークの検討	検討					③ 新幹線新駅設置に伴う地域公共交通ネットワークの検討	検討				
実施項目	R5	R6	R7	R8	R9																				
① 伊勢原大山 IC の整備効果を生かした地域公共交通ネットワークの検討	検討																								
② 東部第二土地区画整理事業地区の地域公共交通ネットワークの検討	検討																								
③ 新幹線新駅設置に伴う地域公共交通ネットワークの検討	検討																								

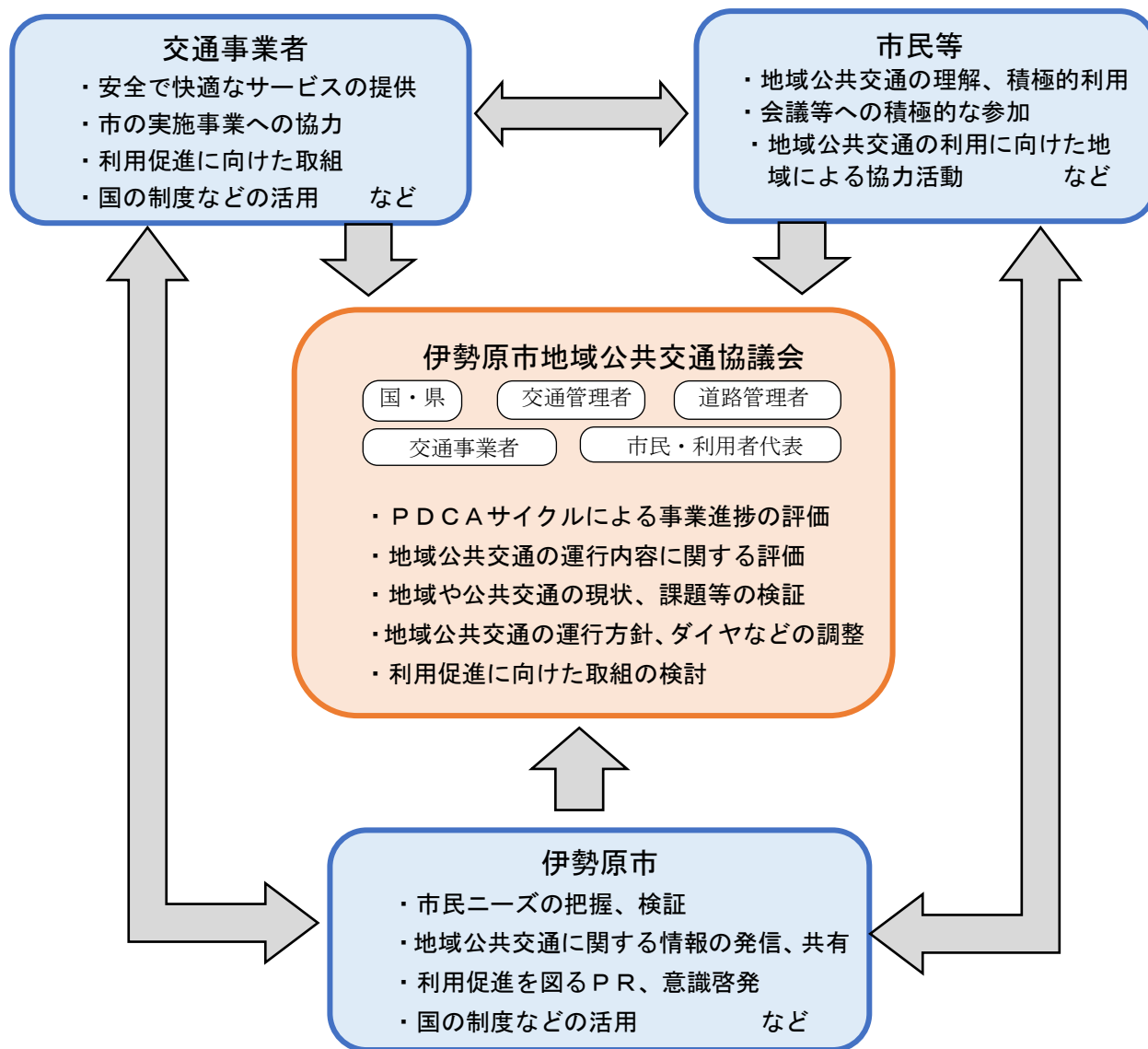
施策 8		スマートモビリティ社会への対応																
事業の概要		<p>○市民の安全で効率的かつシームレスな移動を可能とする「スマートモビリティ社会」の実現を目指します。</p> <p>【実施事業】</p> <p>① 伊勢原市版 MaaS(マース)の導入に向けた調査・研究</p> <p>人口減少や少子高齢社会の進展、また、新型コロナウイルス感染症の拡大により公共交通を取り巻く環境は一層厳しい状況となっています。</p> <p>こうした中、情報通信技術などを活用し、鉄道やバス、タクシーなど、様々な移動手段を組み合わせた安全性や効率性を最適化する「スマートモビリティ」社会の実現による、地域公共交通のサービス水準の維持・充実に向けた取組が全国的に進められています。</p> <p>本市においては、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者が一つのグループ企業である強みを生かし、伊勢原市版 MaaS(マース)の導入を目指し、調査・研究を進めます。</p> <p>◆伊勢原市版 MaaS(マース)導入に向けた検討</p> <div data-bbox="443 1003 1390 1552" style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the transition from a fragmented transport system to a unified MaaS platform. On the left, under the heading '現在' (Current), a person is shown with arrows pointing to five separate transport services: タクシー (Taxi), 電車 (Train), カーシェア (Car-sharing), バス (Bus), and 自転車 (Bicycle). The text above this is '各交通サービスに個別にアクセス' (Access individual transport services). On the right, under the heading 'MaaS', the same five services are shown, but they are all contained within a single app interface. A smartphone icon is shown with the text '経路検索' (Route search), '予約' (Reservation), and '支払い' (Payment). The text above this is 'アプリで一括利用' (Unified use via app). A large yellow arrow points from the current state to the MaaS state.</p> </div>																
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、伊勢原市																	
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施項目</th> <th style="width: 10%;">R5</th> <th style="width: 10%;">R6</th> <th style="width: 10%;">R7</th> <th style="width: 10%;">R8</th> <th style="width: 10%;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①伊勢原市版 MaaS の導入に向けた調査・研究</td> <td style="text-align: center;">調査・研究</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	R5	R6	R7	R8	R9	①伊勢原市版 MaaS の導入に向けた調査・研究	調査・研究									
実施項目	R5	R6	R7	R8	R9													
①伊勢原市版 MaaS の導入に向けた調査・研究	調査・研究																	

9 計画の達成状況の評価

9-1 計画の実施体制

本計画の推進に当たっては、多様な主体の連携、協働により、総合的に取組を進めていきます。

図9-1 交通事業者、市民等、行政による連携・協働

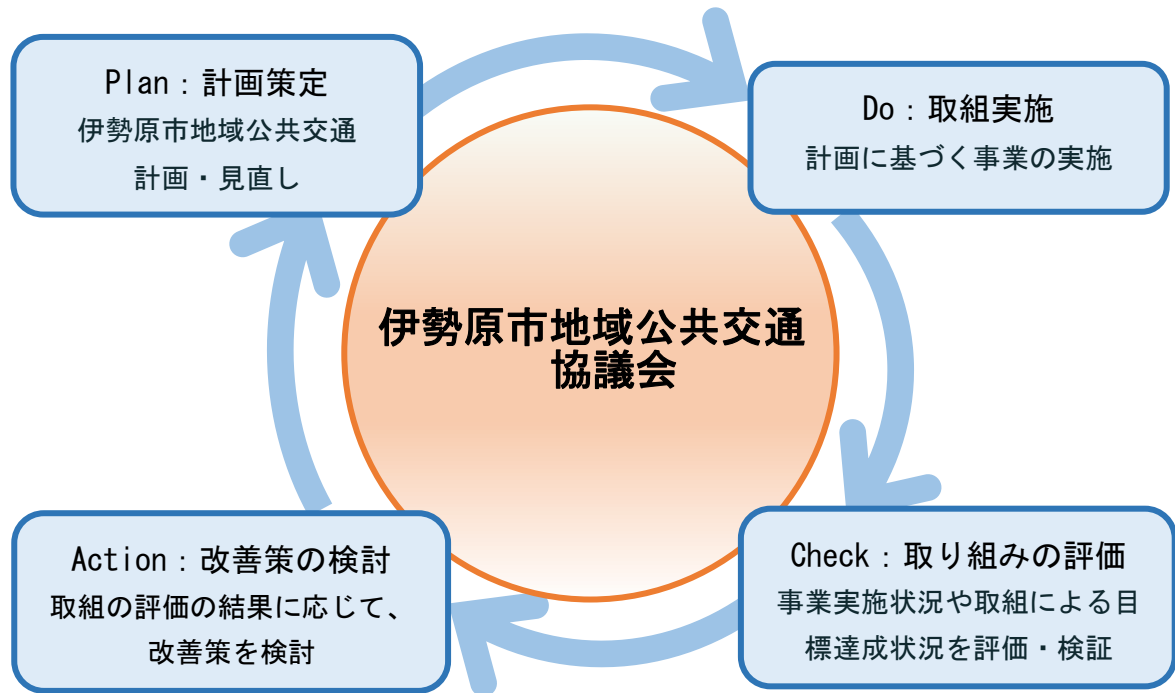


9-2 PDCAサイクルの実行

本計画を着実に推進するためには、目標の達成状況や地域公共交通の利用状況、各実施事業の成果などを評価し、必要に応じて見直し、改善するという「PDCAサイクル」に基づく評価・検証が重要となります。

本計画のPDCAサイクルの実行に当たっては、伊勢原市地域公共交通協議会において進行管理を実施するものとします。

図9-2 PDCAサイクル



9-3 評価の方法及びスケジュール


計画の評価は、総合計画や関連計画の見直し等を考慮し、現計画の評価・検証を行い、計画及び目標値の見直しを行うものとします。

図9-3 評価スケジュール

項目	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①公共交通利用者数調査	◎	◎	◎	◎	◎
②実施事業の評価	◎	◎	◎	◎	◎
③地域公共交通協議会	◎	◎	◎	◎	◎
④市民アンケート調査					◎
⑤計画の見直し					◎

伊勢原市地域公共交通計画

令和5年6月作成

発行  伊勢原市都市部都市政策課
〒259-1188 神奈川県伊勢原市田中 348
TEL 0463-94-4739 (直通)